

山崩れ・ 地すべり の力学

地形プロセス学入門

松倉 公憲 著

筑波大学出版会

Mass Movements in Rock and Soil Masses
Introduction to Process Geomorphology

Yukinori MATSUKURA
*Life and Environmental Sciences,
University of Tsukuba*

University of Tsukuba Press, Tsukuba, 2008

はじめに

筑波大学・地球学類の地形学関連のカリキュラムでは、2年生で“地形学(2単位)”を学び、3年生でその上に“地形プロセス学(通年3単位)”と“地形プロセス学実験(通年3単位)”を積み上げるようになっている[講義・実験以外に、論文紹介をする“演習(通年3単位)”がある]。この3年生向けの講義・実験は、担当教員の専門を生かした“斜面プロセス”“河川・海岸プロセス”“氷河・周氷河プロセス”などの内容を取り扱っている。私はこのうちの“斜面プロセス”の部分を、実験も含めて1学期間にわたって相当している。“斜面プロセス”とは斜面で生起し地形変化をもたらす諸過程のことであり、その主なものはマスマーブメント(重力のみによる斜面物質の移動=地すべり、山崩れなど)である。

“地形プロセス学”の教科書は、英語で書かれた良書は何冊かあるものの、日本語によるものは見あたらないのが現状である。私が、浅学も顧みず本書を執筆した理由もここにある。本書は、上述した“地形プロセス学”“地形プロセス学実験”の私の講義ノートが基本となっている。本書の内容は、毎年講義を良くすべく試行錯誤を重ねながら、あるいは受講生の質問に受け答えしつつ、少しずつ改良してきたものの集大成でもある。その意味で、この講義の多年にわたる受講生に感謝したい。

“学生にとってわかりやすい講義をしたい”というのが、私の常日頃のモットーである。したがって、本書の執筆にあたっては、“地形学”の初学者のために、できるだけ理解しやすいように“わかりやすさ”を心がけたつもりである。そのため、文章や説明が重複していたり冗長であったりすることもあえていとわなかった。そのほうが初学者には親切であるとも考えたからである。式の展開を丁寧にしたことや演習問題を付けたのも同じ趣旨からである。この本を読んで、“地形学”のおもしろさを理解し、“地形プロセス学”を指向する学

徒が一人でも増えることがあれば、望外の喜びである。

本書は、“自然地理学”あるいは“地形学”関連の学部学生の入門書として書かれてはいるが、その内容から、応用地質、土木工学、地盤工学、砂防学分野で地盤災害に関係した学生・院生のみならず、この方面の素養をもたないまま現場で地盤災害の現象に直面せざるを得なくなった防災技術者にとっての、基礎的な参考書としても活用していただけるのではないかと考えている。

30年余りにわたって筑波大学にお世話になってきた。その筑波大学の出版会から拙著を出版できることは、私にとって大変嬉しいことである。出版を勧めていただいた同僚の田林 明先生に感謝いたします。本書の作成過程では、小崎四郎・小暮哲也さんらに図表の作成等で助力をいただいた。また八反地剛講師および筑波大学出版会の先生方には粗稿を読んでいただき、貴重なご意見・ご指摘をいただいた。以上の方々に記して感謝の意を表します。

平成20年8月

松 倉 公 憲